



## 事業名 2025大阪・関西万博を見据えたフランスとの地域資源型・国際交流事業

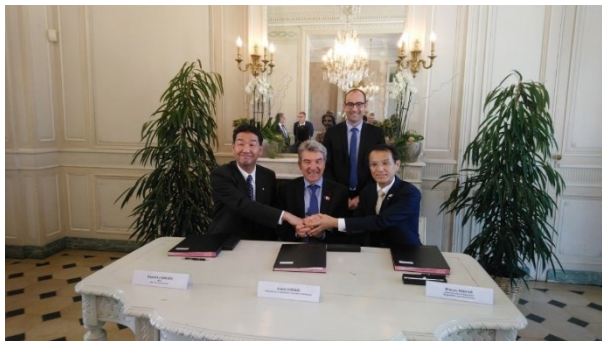


### 取組の概要

国際交流によって子どもたちや市民との新たな学びの機会を創出し、持続可能な交流を展開するため、2023年2月、フランスとの交流事業を開始しました。地域資源や双方の文化に触れる国際交流による地方創生の推進を目的に、フランス文化の紹介やフランス語講座に加え、モノづくり体験、マルシェなどでの文化交流事業を行っています。

人口減少に伴う地域経済の転換に伴い、2025大阪・関西万博をチャンスと捉え、地域の宝である地域資源をフランスや世界の人々に知ってもらい、交流を通じて価値を最大限高めることで、持続可能な地方創生型の国際交流により、より豊かな未来に向けた縁を紡いでいくことを目指します。

## フランスとの交流のはじまり



2020東京オリンピックのフランス陸上チームホストタウンの調印式で渡仏した際に、フランスワイナリーにおける課題を聞きました。ワイン農園で収穫に携わっておられる方の多くが、利用するはさみが手に合わず、腱鞘炎で悩まれていることを聞き、これを三木の金物技術で解決できないかと考え、事業者と検討を開始しました。

また、2022年9月に近畿経済産業局が進める地域ブランドエコシステム構築事業の一環で行われた在京都フランス総領事館でのマルシェに、三木市も参加したことを契機に、同総領事館とのご縁も生まれました。

国を超えた交流では、まず、相手の文化を知り、想いを伝えることが重要であることから、同総領事館の協力も受け、2023年に、共感から同じ想いを共有しながら進める新たなチャレンジをスタートさせました。

## 人が紡ぎ、互いを知る



「令和4年度万博国際交流プログラム調査事業」の全国2市の一つに選定されたことも契機に、令和4年度は次の事業を行いました。

- ☑ 在京都フランス総領事による吉川中学校での「びっくりフランス(フランスの今を知ってもらう)」やモノづくり工房訪問
- ☑ 関西日仏学館による三木高等学校でのフランス語授業や庖丁製造鍛冶体験、酒蔵訪問
- ☑ 在京都フランス総領事館でのマルシェに参画し、別所ともえ太鼓の演奏、体験
- ☑ 日本酒を支える酒米の王者山田錦の生産量・品質ともに日本一のまちでの山田錦まつりを堪能いただく文化交流とモノづくり体験

万博を契機に生まれたこれらの取組を通じて、地方創生地域課題解決型の人や産業がつながる持続可能な交流に向け、動き始めています。

## 未来に向けた持続可能なチャレンジ



今後も、次の取組を行い、人がつながり、地域を超え、国を超えそれぞれの強みを掛け合わせることで課題解決を図り、地方創生を推進する仲間を増やしていきたいと願っています。

- ☑ 国を超えたイベントへの相互参画による新たな販路開拓や仲間づくり
- ☑ 食をテーマに地域資源を活用した新メニュー開発や新たな視点を取り入れた商品開発により、つながり続ける豊かな人生を仲間とともに創出。
- ☑ 子どもたちが文化や人に触れ、つながる未来を大人がサポート。

万博の開催を契機として、『様々なステークホルダーや人財が集まり、それぞれが発展するWell-Beingな未来をともに創りませんか?』を共通のメッセージとして、未来に向けた新たな国際交流を展開していきます。



問い合わせ先

担当者:三木市総合政策部縁結び課 清水

URL:<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/6/55800.html>

Mail:[akihiko.shimizu@city.miki.lg.jp](mailto:akihiko.shimizu@city.miki.lg.jp)